

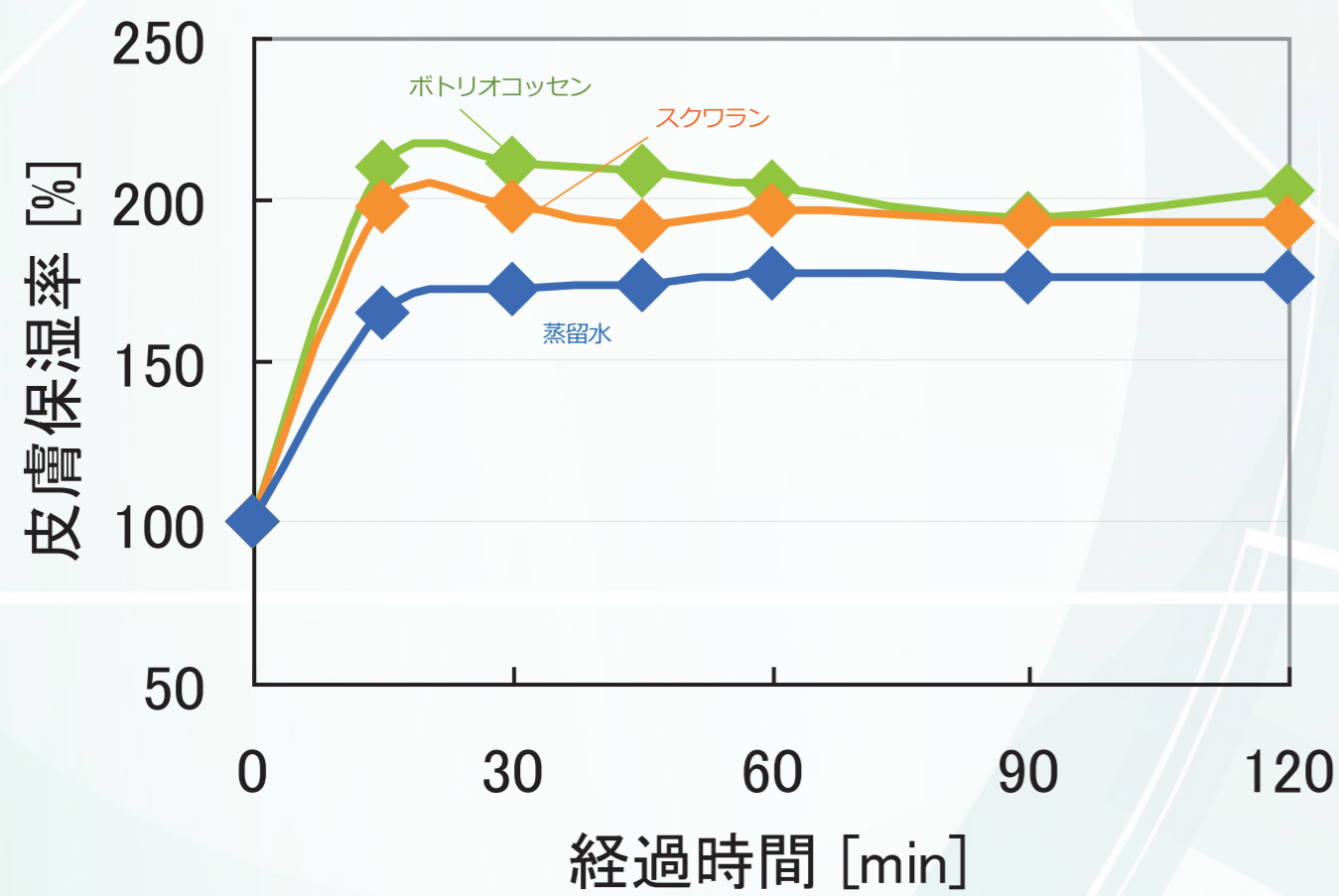
## 「ボトリオコッセン」の化粧品展開

光合成で藻がCO<sub>2</sub>から生み出すピュアオイル。環境にも人にもやさしいグリーンマテリアル

ボトリオコッカスが生産するオイルは不飽和炭化水素で、スクワレンに似たピュアオイルです。スクワレンは皮脂の主成分で様々な生理活性を持ち、皮膚への浸透性が高いことが特徴ですが、酸化しやすいため、化粧品への添加は水素添加によってスクワランに変換する必要があります。しかしながら、ボトリオコッセンは、高保湿性に加え、酸化しづらい特性を持っているため、ピュアな状態のまま化粧品に添加可能です。

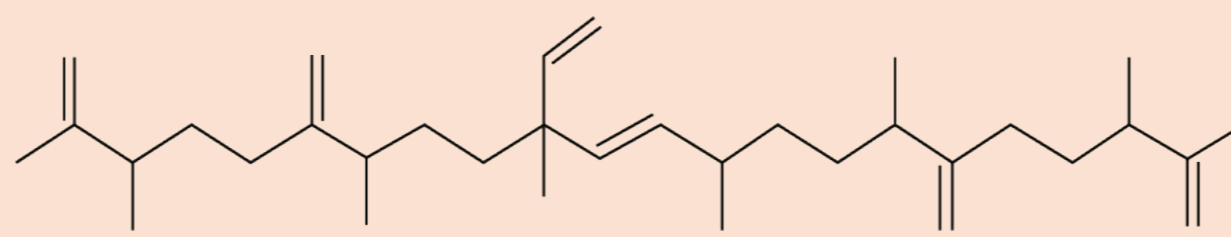


緑藻ボトリオコッカス (Botryococcus braunii) の細胞群と、そこから染み出す炭化水素オイル (ボトリオコッセン)



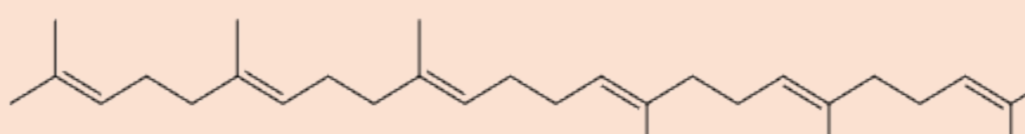
ヒト肌でのボトリオコッセンの保湿性能試験 (N=7)。皮膚保湿率は皮膚電気伝導度にて計測。

ボトリオコッセン (Botryococcene) : C<sub>34</sub>H<sub>58</sub> (主成分)



- 分岐鎖を持つ不飽和炭化水素
- 緑藻ボトリオコッカスのみが生産

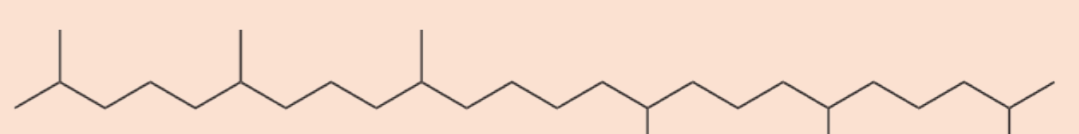
スクワレン (Squalene) : C<sub>30</sub>H<sub>50</sub>



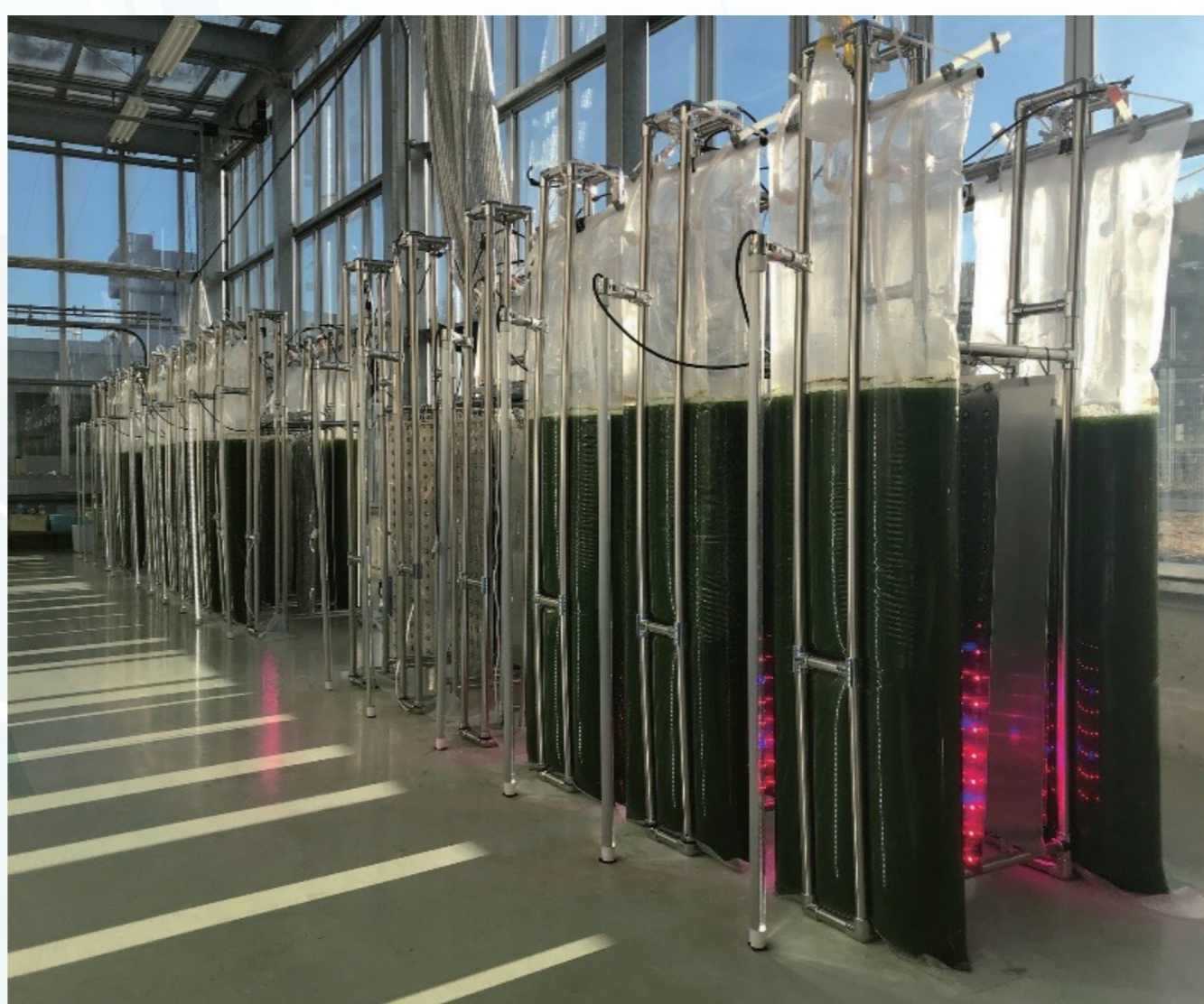
- 分岐鎖を持つ不飽和炭化水素
- 生理活性物質

スクワラン (Squalane) : C<sub>30</sub>H<sub>62</sub>

水素添加 (安定化)



- 分岐鎖を持つ飽和炭化水素
- 化粧品用途 (保湿)



ボトリオコッカス・ブラウニーの屋内培養施設 (筑波大学 藻類バイオマス・エネルギーシステム研究拠点内)



ボトリオコッセン配合化粧品例 MOINA フェイスセラム (発売元: フィコケミー株式会社)

### ボトリオコッセンの化粧品展開

商品名	ボトリオコッセン
INCI名	Botryococcus Braunii Extract
化粧品表示名称	ボトリオコッカスブラウニーエキス
配合目的	保湿(エモリエント)剤、その他機能性(特許出願中)
主成分	C <sub>34</sub> H <sub>58</sub>
中文名称	記載なし (登録準備中)

### ボトリオコッセン製造工程の特徴

培養	太陽光利用 (エネルギー削減)
乾燥	天日干し (エネルギー削減)
抽出	溶媒の再利用 (消費量削減)
精製	高度精製 (不純物除去)

#### 〈お問合せ先〉

販売元: オー・ジー株式会社 経営戦略室  
 住所: 東京都中央区日本橋本町2-8-7 担当: 舘野  
 TEL: 03-3665-8410  
 E-mail: haruka-tateno@ogcorp.co.jp

製造元: フィコケミー株式会社  
 〒315-0116 茨城県石岡市柿岡1155-50  
 TEL: 029-869-9823  
 E-mail: info@moina.net